

一乗谷朝倉氏遺跡資料館・博物館の特別館長について

1 氏名

小野 正敏（おの まさとし）氏

2 就任期日

令和4年4月1日（資料館特別館長）

令和4年10月の博物館開館日以降（博物館特別館長）

3 プロフィール

神奈川県出身 昭和22年生まれ 74歳

中世考古学の第一人者。一乗谷朝倉氏遺跡をはじめ全国の中世遺跡に精通。

文化庁文化審議会の美術工芸や記念物等に関する委員、全国の国史跡の指導委員などを歴任。

S. 45 明治大学文学部史学地理学科（考古学専攻）卒業

S. 47 福井県教育庁朝倉氏遺跡調査研究所職員

S. 56 福井県立朝倉氏遺跡資料館文化財調査員

S. 61 国立歴史民俗博物館考古研究部助教授

H. 18 同上教授

同上副館長

H. 22 人間文化研究機構理事（H25年退職）

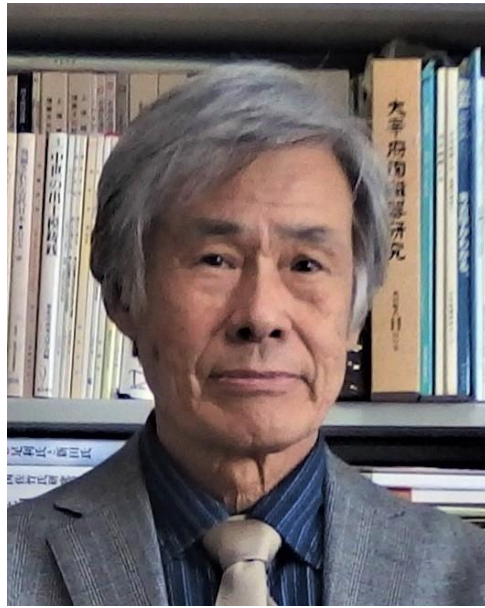
H. 28 国立歴史民俗博物館名誉教授

4 福井県・一乗谷朝倉氏遺跡とのかかわり

本県職員として一乗谷朝倉氏遺跡の初期の発掘調査に従事。朝倉館や町並立体復原地区、平面復原地区など、一乗谷内の重要区画の発掘調査および環境整備に尽力し、戦国時代の都市計画や人々の暮らしぶりを解明。

平成12年から現在まで福井県朝倉氏遺跡研究協議会の委員として、一乗谷朝倉氏遺跡の保存整備に関する計画の協議や実施上の重要事項の調査研究を指導。平成28年からは協議会会長として尽力。

小野 正敏氏 写真



小野 正敏氏の一乗谷朝倉氏遺跡資料館（博物館）特別館長就任に向けての抱負

一乗谷は、戦国大名朝倉氏が越前の首府として5代約100年にわたって治め栄えた城下町でした。半世紀にわたる発掘調査は、約400年ものあいだ土に埋もれていたタイムカプセルを開き、いきいきとした戦国の町の姿をよみがえらせました。当時の町を一セットそっくり保存し、調査する一乗谷は、全国的にもまれな重要な遺跡として国の特別史跡・特別名勝に指定されています。

この日本を代表する歴史遺産の価値をさらに強力に発信するため、新たな博物館が建設されることは、私にとっても大きな喜びです。新博物館では、朝倉館の原寸再現、まちなみと人々の生活が復元された巨大ジオラマ、川湊跡ともいわれる石敷遺構など、戦国時代にタイムスリップする仕掛けをたくさん用意しています。

新博物館を通じて、一乗谷朝倉氏遺跡がこれまで以上に国内外の人々に親しまれ、感動を与えられるよう全力を尽くしたいと思います。